

福祉と住環境を考える



ふくてっく

2013年 6月  
第84号

特定非営利活動法人

ふくてっく

559-0034 大阪市住之江区南港北 2-1-10 ATC・ITM 棟 11F エイジレスL  
TEL 06-6614-6800  
mail@fukutech.sakura.ne.jp http://fukutech.sakura.ne.jp/

ふくてっく発足  
二十周年にむけ



「NPO法人 ふくてっく」  
にとつて七月からの二十五年  
度は記念の年となります。

一九九三年七月に「福祉機  
器・住宅研究会」として大阪  
市社会福祉協議会の支援を受  
けてボランティアグループと  
して発足し、多くの方々を支  
えられ今年二十周年を迎える  
事になりました。

一言に二十年と言っても、  
この年月で会員の顔ぶれも大  
きく変わり、活動内容も社会  
情勢に合わせて、地域社会のニ  
ーズにあったものへと変化し  
続け、ボランティア団体から  
NPO法人となり、現在は四  
部会で活動しています。

いっていましたが、やがて住宅  
改修が活動の中心になりまし  
た。

今と違い高齢者等の住宅改  
修が大工さんや工務店等に見  
向きされなかった時代なので  
会員自らトンカチを持ち手ス  
リ等の取付けをおこなってい  
ました。

一九九七年二月には「福祉  
機器・住宅研究会」を「福祉  
と住環境を考える会」(愛称を  
「ふくてっく」に改称しまし  
た。一九九八年十月に設立五  
周年記念事業として「手すり  
のすべて展」をATCエイジ  
レスセンターにて開催し、「手  
すりに夢を」をテーマに会員  
の手作りの手すりを展示しま  
した。

を大阪市ボランティア情報セ  
ンターよりATCに移し新た  
な気持ちで出発する事になり  
ました。

十周年を迎えた時、当会は  
受動的サービスから一歩進ん  
で主導的に発信する活動、い  
わゆるコミュニケーション  
を目指し動き出しました。

そして、二〇〇〇年を迎え  
「介護保険制度」施行後、高  
齢者の住宅改修は民業として  
一般化され、当会の役割も更  
に変わっていききました。

かなり増えました会としては大  
きく成長したもので、人間で  
言えば成人、二十歳になりま  
した。立派な大人としての立  
ち居振る舞いが求められ、大  
人のNPO法人として恥ず  
かしくない有意義な活動を  
会員みんなで力を合わせて  
続けていきますので、引続き  
のご支援とご協力を宜しく  
お願い致します。

そこで、この二十周年記念  
をどの様な意義をもって取組  
むべきか、またどの様な事  
を催したいかを現会員に意見  
を聞くアンケートをとりました。  
結果として、この七月からの  
二十五年を記念年として一  
年間をかけ、ふくてっくの歴  
史を振り返る機会とし、それ  
をきっかけとし新たな取組

二〇〇二年九月NPO法人  
格の取得をきっかけに事務局

みへチャレンジする期間に  
出来ればという意見が多数  
ありました。

そして最後には、これま  
で関わったみなさんと一緒  
に二十周年を祝う会を催し、  
楽しい成人式を祝いたいと  
思います。

理事 小川 忠雄

かくちゃん

菽野光



雨にぬれてもツユの間忘れ

## こむねっと事業部会

## こむねっと事業部の十年

始まりは2003年に呼びかけたコミュニティビジネス企画「おおさかすまいコムネット」であった。企画文書の冒頭に、「激しく変貌をとげる現代社会に求められる地域福祉の今日的課題として『居住福祉の充実』をあげる。それは単にハード面の整備では足りず、支え合う市民文化と一体でなければならない、という認識の下、企業・行政に任せきりにしない、市民主体の非営利事業（コミュニティビジネス）として起業する。」とある。

その後、発起人会の発足、活動参加への意識調査を経て同年10月4日に第1回設立準備会が開かれた。この時の参加者8名中、現在もふくてっくのアクティブ会員として残っているのは中北と畑、後藤会員の3名である。

続けて10月22日に第2回設立準備会では活動方針・基本理念として、①市民（生活者）の視点、②広義の福祉観、③強制されない自主性と連携、④エンドレスな課題克服、⑤高度かつ公益性ある専門性、⑥フラットな組織、⑦健全な安定運営、⑧参画者の正当な報酬、⑨利益の社会還元、⑩地域福祉への寄与、⑪三方よし、⑫ものづくり、⑬ボランティア概念の核心・・・以上の13項目を掲げた。こうして、こむねっと事業部は2003年12月6日に正式にスタートしたのである。その後の主な活動経過を列記すると以下の通りである。



第三者評価基準 施設職員との勉強会

### 2004年

- ①みなくるハウスの開設（9月7日）の協力
- ②瀬戸氏のコンサルティングを受ける
- ③大阪市へ住宅改修適正化企画提案

### 2005年

- ①福祉サービス第三者評価機関認証
- ②東大阪市委託事業の取組検討開始

### 2006年

- ①東大阪市委託事業開始
- ②特養「至善荘」第三者評価
- ③御所市古民家調査
- ④第三者評価機関連絡会代表幹事を引き受ける（のちに推進委員会委員兼務）

### 2007年

- ①東大阪活動と第三者評価活動を分離して、こむねっと部会を解消



第三者評価 知的障害者就労支援事業所就労体験

### 2008年

- ①第三者評価と特建定期調査を両輪に、新生こむねっとスタート、この時、ふくてっくの15年・こむねっとの5年を振り返り、ビジネスとCB、ボランティアの差異について提言。ふくてっくが何を、なぜ、やるのか、なぜできていないのかを問う。

### 2009年

- ①エイペックスひろの第三者評価（簡易）
- ②町田市および東京都訪問研修

### 2010年

- ①こむねっと有期限論を提示
- ②特建調査を活動から外す方針提示
- ③ななこ庵開設の協力

### 2011年

- ①1月こむねっと部会活動総括を発表して活動停止宣言
- ②7月こむねっと部会の再開

### 2012年

- ①奈良県手をつなぐ育成会第三者評価
- ②スバル・トータルプランニング第三者評価

### 2013年

- ①社会的養護施設評価機関認証
- ②奈良県第三者評価機関認証
- ③特建検査業務終了
- ④障害者住環境改善事業の着手
- ⑤SCP事業研究の着手
- ⑥社会連携活動の部会編入



ななこ庵作業風景&近隣

以上の間、社会状況の激しい変遷流転の中、こむねっとは姿を様々に変え、しかしながら振り返れば2003年の発足当初の基本理念は頑固に保持し続けてきた。ふくてっく20年を迎えるに当たり、その後半10年を象徴し、多彩に色づけてきたと自負している。

幹事 中北清



# 東大阪部会

## 東大阪市西福祉事務所周辺の案内

東大阪部会では、東大阪市高齢者・重度身体障害者住宅改造費助成制度利用者の現地調査(検証)に携わりもう8年になります。そして、高齢者等の住宅改造をスムーズに進めて頂くために、市民や関係者対象の住宅改造事前相談会を始めてから4年になります。これまで本庁だけで行っていた事前相談会を、今年度から西福祉事務所でも行うようになりました。そこで、西福祉事務所周辺について紹介させていただきます。



白い建物が西福祉事務所です。

まず、東大阪市は、1967年に布施市と河内市、枚岡市の3市が合併して出来ました。本庁は河内市庁舎を利用していましたが、2003年に22階建ての現庁舎に移りました。3市合併の名残で、旧布施市を西、旧枚岡市を東と扱っています。この西福祉事務所は、旧布施市庁舎があった近鉄河内永和駅周辺に位置します。

現在、旧布施市庁舎は、総合健康づくりセンターに建て変わりましたが、市庁舎があった関係でしょうか、周辺には市民会館、税務署、郵便局、簡易裁判所、法務総合庁舎、図書館、総合福祉センター、西保健センター等の行政施設等が存在します。



総合福祉センター



鴨高田神社



長榮寺

また、奈良時代から由緒をもつと言われている鴨高田神社や隣には飛鳥時代に建立したと思われる長榮寺、大阪樟蔭女子大学、精神科総合病院である小阪病院等ありました。



上 総合健康づくりセンター  
左 小阪病院

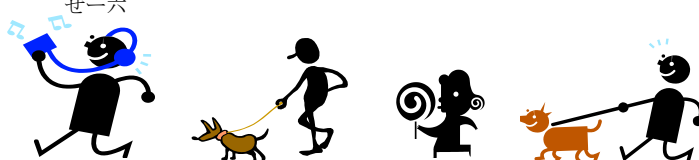
また、総合健康づくりセンターの前には、大阪中央区本町にある手作りアイスクリームで有名なゼー六の兄弟店があります。昔ながらの手作りアイスクリームをもなかの皮で包んだ、程よい甘さで何とも懐かしい味が評判です。HP「くだおれ大阪どっこむ」によると「ぜーろく」とは、「贅六」と書いて、商人に無用の贅物六つ(禄、閥、引、学、太刀、身分)をさす言葉が由来だそうです。



ぜー六

以上、西福祉事務所周辺(旧布施市庁舎周辺、近鉄河内永和駅周辺)を、簡単に紹介させていただきました。

幹事 川北 武志





会 睦 親


春の親睦  
カニパーティー



昨年は一泊にて、岡さんの別荘をお借りして行った親睦会。今回は日程の調整がつかず三月二十日(祝日)に佐久川会員紹介の西区「おはな食堂」にて行いました。参加者十七名で午後一時三十分よりの開始。清水さんの娘さんが志望高に無事合格とのうれしい報告があり、杉浦氏の乾杯の音頭により宴は始まりました。

昨年もお世話してくださった曾我部さんの包丁さばきで、次々とカニ料理が食卓に乗せられました。普段はうるさい連中が、今日ばかりはよその団体かと疑うくらい料理に夢中。

当日の感想を  
お二人の会員さんへ  
お願いしました



カニパーティー大変よかったです。昨年もよかったです。更に良いカニだったように思う。私はカニが好きでこの三十年間、毎年正月に「かに道楽」からカニを取るが、その時々で当たり外れがある。今年のふくてっくのカニは当たりであったと思う。

そして何より皆で食べるのがおいしい。先日、母が数日入院し、ひとりぼっちで食事をしたがつくづく寂しいと思っただ。人は人恋しい動物と感じた。

お世話してくださった皆様ありがとうございます。感謝 (岡 道信)

只今、準備中!!




カニパーティーの幹事である杉浦さん、池端さん他お手伝いの皆さん、有難うございました。また、場所を提供してくださったオーナさんと現在婚約中の美しい娘さん、有難う。

佐久川さん島村さん、我々の居場所としておはな食堂を紹介していただき本当にご苦労さんでした。

曾我部さんにより一流料亭でしか食べられない、味よし身詰よしの、カニ料理さんま。感謝、感激。佐久川さん島村さん春岡さん曾我部さん山本さん、親睦会の為に午前中からの準備有難う。

当日は雨降る中、定刻通り一時三十分より杉浦部長の開会の挨拶があり、ユーモアをまじえての話で会場を沸かせていた。往年の杉浦氏ここにあり。今後の健闘を祈ります。

当日は清水さんの娘さんの、大阪府立高校の合格報告があり、重ねて古場さんの誕生日も発表され全員で乾杯する。めでたし、めでたし。

春岡さん、福岡県の博多に帰り、もつ鍋の店を出すとの事、今日は送別会で島唄に合わせて踊られるも、沖縄の踊りではなく、徳島県の阿波おどりを気持ち良く踊っておられた。

店まで来て  
鍋の福を  
お出しに  
まかせ  
さいませ  
(^o^)  
by 春岡

今か今かと少し  
イライラ ...(>\_<)  
年寄り(?)は  
気が短くなるのよ~



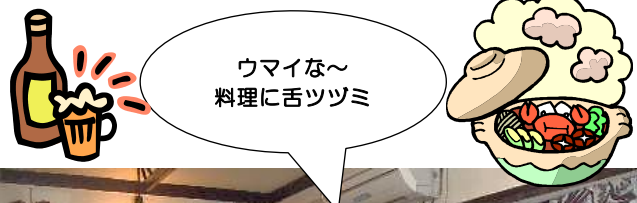
全員爆笑喝采の中、日頃静かに酒を飲んで議論する中北さんが両手を上げて踊っておられるのを見て、今日は心から楽しんでおられるんだなと思いい写真を一枚バチり。

島村さんが歌った『アリアン峠』発声法も独特で、皆さん感動深く聞いておられた。また機会があればお聞きしたいですね。

後藤さん、私も生まれて八十五年になりますがこの様な充実した親睦会は初めてです。改めて厚くお礼申し上げます。

(有馬 貞夫)

ウマイな~  
料理に舌ツツミ



参加のみなさん当日はお疲れさま。大いに食べ、語り、歌い、踊った一日でした。

もう来年の開催が待ち遠しいのでは? お手伝いいただいた皆さん、会場を提供してくださったお店の方、参加いただいた皆さん、ありがとうございます。

(後藤 秀樹)



# 『私は引越貧乏・・・？』

曾我部 千鶴美

ポーランドには、『3回引越すると1軒家が全焼するだけの損害が出る』ということわざがあるそうです。果たして私は？産声をあげた香住町⇒枚方⇒京都市山科⇒京都市南区⇒京都市伏見区⇒宇治市⇒広島市⇒千葉市⇒大阪市港区⇒大阪市住之江区・・・なんとなんと、9回も引越をしている。ということは、貯めては捨て、捨てては貯めを繰り返しながら、家3軒分を全焼させたことになります。恐ろしい！ここで、今までの引越で学んだことを少しお話しします。



入居の決め手となったその住居のすばらしいと思った点はすぐに慣れ、素晴らしいと感じなくなります。逆に、たいした問題ではないと思った点は、住むほどに気になりだし、そしてなかなか慣れない！・・・ということは、長く住みたいならメリットの大きい物件よりもデメリットの少ない物件をチョイスするべきです。

プラス1000万で海が見渡せる絶景の物件もありましたが、やめました。

この春引越しましたが、見積り不足で段ボール箱が足りなくなり、更に段ボール箱が増えたことが、当日作業の方に伝わっておらず、その分、荷出し・荷入れにも時間かかり、トラックにも積めないかもと言われてたり、挙句に箱を落としてしまいましたと言われ、お気に入りの九谷焼のお皿が割れていたり・・・、と少しトラブルが重なってしまいました。前回までは特にトラブルもなくスムーズに引越をしていたので、これで最後だよということなのでしょう？特段の事情がなければ繁忙期の引越は避けるべきですね。



でも、また引越をするかもしれません。次回の引越は、まだいつするかは決めていませんが、お金で買うことの出来ない物以外は捨てて、すっきりと引越をしたいと思いつつ、今からイケヤに行ってきます。(´0´)／

# 会員コラム

## 『楽しさ』を極める

荻田 保志

私は現在62歳「カリタエンジニアリング」という会社一人でなっています。今年こそは取得特許を中心とした株式会社の立ち上げを考えています。色々な仕事を経験して来ました。電子基板設計、副資材関係サラリーマン等々、そして今の会社で23年頑張っています。この経験の中での「楽しさ」は何だったのか？今考えると色々なことが脳裏に浮かび、そしてそれは一つの線で結ばれていました。

学生時代、分析化学を専攻していましたが、ふとしたきっかけでコンピューターのプログラムを始めました。それはパズルを解くような面白さで、それを元に基板設計のバイトを始め、頭のなかで動く面白さを体験したのです。そして次から次へと動く特許を考えるようになりました。企業からは必要な人材として認めていただきましたが、考えた時は楽しくても、その後は現実に押し潰されそうな日々でした。

しかし今の職業に従事した時、楽しさが蘇って来たのです。それは「機械の制作」と言ってもちょっと違って、仕掛け時計や科学館の動く機械です。もうアイデアの塊みたいな仕事で非常に楽しいものでした。

自分が物を運ぶときの便利さ楽しさをアイデアに「キャスト」に着目し、約10年かかりましたが現在の特許を生み出しました。現在少しずつですが売上を伸ばし商品開発も進んでいます。今回は「自分のため」です。そして気づいたのです。「アイデア」が「楽しさ」であり、自分の気持ちが一番楽になる時だと。このことを味わうと次に色々な人を巻き込み「楽しさ」を持っている人を見つけたいとなります。

「ふくてっく」はそんな場所！？「楽しさ」を極め、もっと多くの人に会い、もっと多くの「アイデア」を出し、「楽しさ」の大きな渦を作りたい。最高の「楽しさ」を求めて、私の人生は始まっています。

## 「ある日のお客様との会話 六」

秋岡 安



客：NPO法人の決算書が変わったの？  
私：そうです。  
客：収支計算書から活動計算書に変わりました。  
私：そうです。収支計算書は資金の増減を示したものです。活動計算書は正味財産の増減を示したものです。  
客：しようみざいさん？  
私：正味財産とは資産と負債の差額の事です。たとえば、ある人が十億円の不動産を持っているとします。しかし借金が九億円あれば、その人の正味の財産は一億円です。つまり資産である不動産十億から負債である借金九億を差し引いた残りの一億がその人の正味財産となります。資産－負債＝正味財産です。  
客：収支計算書とどこが違うの？  
私：様式も違いますが、固定資産・負債の取引の表示が違ってきます。たとえば、車をキャッシュで買ったとします。収支計算書では固定資産取得支出で表示されますが、活動計算書には表示されません。  
客：なぜ？  
私：車という資産は増えましたが、現金という資産が同額減りましたので、正味財産は変化ありません。増減なしですから表示されません。このように民間企業の損益計算書と同じ機能をもった決算書になったんです。  
客：なるほど。簿記を知っていても収支計算書は難しかったよね。  
私：そうですね。資金の範囲とか一取引二訳とかの勉強が必要でした。でも活動計算書ではそれが不要になりました。



■ H25年1月以降 学習会

- 1月 親睦会 (学習会は無し)
- 2月 「有料老人ホームの現状と基礎知識」  
講師：米沢ななこ氏  
(社) コミュニティーネットワーク協会
- 3月 「市民後見人の活動と権利擁護」  
講師：藤原 一男氏  
大阪市成年後見支援センター所長
- 4月 「第三者として、福祉現場への関わり」  
講師：李 千秋氏  
NPO法人日本福祉文化研究センター
- 5月 「高齢者・障がい者の暮らしと地域」  
講師：森 一彦 教授  
大阪市立大学大学院・生活科学研究科・福祉環境学 教授  
大阪市立大学都市防災研究G 代表
- 6月 「更生保護会の活動について」  
講師：北井 彩乃氏  
天王寺区校正保護女性会会長



■ H25年度 定例会・学習会予定

7月6日(土) 13:30~17:00頃  
 会場：大阪市立社会福祉センター  
 学習会：「(仮)障がい者市民防災提言  
 障がい者がふつうに暮らせる  
 仮設住宅づくり」  
 講師：認定NPO法人 ゆめ風基金



ことば・コトバ  
【障害者総合支援法】

障がい者福祉の法律が4月から変わりました。「障害者自立支援法」が改正され、対象に難病患者が加わりました。難病とはパーキンソン病・関節リウマチ・筋萎縮性側索硬化症など治療法が確立していない疾患のこと。今回の制度変更で、政府が指定する130疾患に該当する患者は、身体・知的・精神障がい者らと同じように、各種の支援サービスを受けられるようになりました。

視覚・聴覚障がい者に対するコミュニケーションの支援も強化されました。(法律が全面的に施行されるのは来年4月から)

和泉秀子



◆二月二十六日 大阪NPOセンター総会に出席しました。  
 ◆真友会 NPOとしての立上げ等について協議・検討中です。  
 ◆有償ボランティア連絡会定例会や宅老連の会合に参加しました。

◆五月二十五日大阪障害者自立協会主催の「阿倍野おにごっこ」は、参加者約二百人。阿倍野歩道橋において障害者差別解消法の成立等を楽しくアピールした後、阿倍野界隈のバリアフリー散策をおこないました。



◆ 外部連携 ◆

… 事務局より …

- ★ 理事会・運営会議 開催状況  
平成二十五年一月五日 理事会(臨時)
- ★ 平成二十五年二月二日 運営会議
- ★ 平成二十五年五月十一日 運営会議
- ★ ふくてっく二十周年記念事業について会員アンケートを実施。検討委員会を立ち上げ、協議を進めています。
- ★ 福祉用具部会は休部になりました。

NPO 法人ふくてっくとは・・・

ふくてっくには、建築・医療・福祉分野の有資格その他、多岐に亘る専門職が参加しており、お互いの専門領域における見識と誇りを大切にしつつ、相互の研鑽しあう機会を育んでいます。キーワードは「生活者の視点、当たり前の感覚です。」是非あなたも仲間に入って、自らの人生を耕しませんか。一度、定例会(原則：毎月第1土曜日、13:30~)にご参加ください。定例会では、会員の活動報告や講師を招いての学習会等を行っています。正会員以外の方が定例会に参加される場合は、参加費500円です。

\*会費：入会金/無料

：年会費/正会員 10,000円、学生会員 3,000円、通信会員 500円

\*連絡先：TEL 06-6614-6800

ホームページ <http://fukutech.sakura.ne.jp/>

メールアドレス [mail@fukutech.sakura.ne.jp](mailto:mail@fukutech.sakura.ne.jp)

